

## 第2学年1組 学級活動(1) 学習指導案

北九州市立小石小学校

1 議題 1年生のために、モコちゃんしゅう会をしよう。

2 議題について

(1) 児童の実態

本学級の児童(男子7人・女子12人)は、元気で明るく、何に対しても一生懸命に取り組むことができる。年度当初に、学級全員で話し合い、「やさしく げん気であかるい メリハリのある チャレンジする 2年1組」という学級目標を設定した。これまでの学級会では「学級の歌を決めよう」や「ハロウィンしゅう会をしよう」などの話し合いを行っている。過去6回の学級会では、理由をつけて自分の意見を積極的に述べることができている。一方で、友達の意見を踏まえて考えることや、合意形成を図ることに関しては、教師の支援が必要となる場面が多くあった。そのため、学級会や日頃の学校生活の中で、友達の意見を聞き、自分の考えを形成したり、友達が納得する合意形成の方法を示したりするよう指導している。

(2) 議題選定の理由

本議題は、生活科の学習において2年生が飼育しているモルモットのモコちゃんを「1年生と一緒にお世話したい。」「もっとモコちゃんのことを知りたい。」という子ども達の意見を基に考えられた。本校では、2年生が生活科の学習でモルモットの飼育を担当している。本学級の児童も、全員で協力しながら熱心にモルモットの世話をしている。その中で、隣接学級である1年生がモルモットに興味を示している様子を目の当たりにしている。また、2年生は、昨年の2年生よりモルモットのことやモルモットの飼育方法について、集会を通して教えてもらった経験がある。今回の議題は、「1年生にモコちゃんのことを分かりやすく伝えること。」について考えることで、1年生のことを思いやる相手意識を高める点で有効である。さらに、普段お世話をしているモルモットのことをさらに詳しく知る機会となるため、普段の飼育活動に対する目的意識の向上にも有効である。

3 目標

知識及び技能	○みんなで楽しい学級生活をつくるために、他者と協働して取り組むことの意味を理解することができる。
思考力、判断力、表現力等	○楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。
学びに向かう力、人間性等	○友達の意見を踏まえて、自分の意見を伝えたり、合意形成を図ろうとしたりする。 ○自己の役割に責任をもって取り組もうとする。

#### 4 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	○提案理由や話し合いのめあてに沿った内容や意見を考えたり発表したりすることができる。
集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	○1年生やモコちゃんとの仲がさらに深まる方法について、自分と友達の意見を比べながら考えたり、発表したりする。
主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	○自分の役割に責任をもって取り組もうとしている。 ○友達の意見を大切にしながら自分の意見を伝えようとしている。

#### 5 事前の活動

日時	学習活動	○ 主な指導上の留意点	【観点】評価規準（評価方法）
11月4日	1 計画委員会で議題を選定し、議題を決定する。	○ 議題は学級の様子や実態に即して考え、真剣に話し合うことができる内容を選定する。	【主】計画委員会の役割を理解し、進んで議題を考えたり選んだりしようとしている。（行動観察）
11月7日	2 提案理由を基に柱、話し合いのめあてを決める。	○ 全員で話し合っ決めてべき内容を考え、柱が決定できるように助言する。 ○ これまでの話し合いの反省点を意識させ、めあてを設定するように助言する。	【知】提案理由に沿って、全員で話し合うべき内容を決定している。（発言内容・行動観察）
11月8日	3 議題、提案理由、柱、めあてを確認し、自分の考えを学級会ノートに書く。	○ 決まっていることを確認し、事前に考えをもたせることで、学級会での発言をしやすくする。	【思】提案理由やめあてに沿って、考えを学級ノートに書くことができる。（ノート分析）
11月9日～ 11月10日	4 学級会ノートに書かれた意見を整理し、話し合いの準備や練習をする。	○ 全員の学級会ノートに目を通すことで、話し合いの見通しをもてるようにする。	【思】合意形成しやすいように学級会ノートに書かれた意見を整理している。（行動観察）
11月14日	5 学級会のリハーサルをする。	○ 話し合いがスムーズにできるように、役割分担や司会・進行の仕方、黒板記録、ノート記録の仕方を指導する。	【主】自己の役割を理解し、積極的に取り組もうとしている。（行動観察）

6 本時の学習

(1) 日時 令和4年11月15日(火) 5校時 於 2年1組教室

(2) 主眼

「1年生のために、モコちゃんしゅう会をしよう。」の話合いにおいて、自他の意見を比べ合うことを通して、自他の意見の違いに気づき、合意形成を図ることができる。

(3) 見方・考え方を働かせている児童・生徒の姿

友達の意見を踏まえて自分の意見を述べたり、合意形成を図ろうとしたりしている姿。

(4) 準備

教師：黒板掲示用プレート（議題・提案理由・柱1など）

児童・生徒：学級会ノート（全員）、話合いの進め方シート、学級会グッズ（計画委員会）

(5) 展開

第7回学級会 活動計画	
議 題	1年生のために、モコちゃんしゅう会をしよう。
役 割	司 会 ( ) ( ) 黒板記録 ( ) ( ) ノート記録 ( ) 提 案 者 ( )
提案理由	① 1年生と一緒にモコちゃんのお世話をしたいと思ったから。 ② モコちゃんのことを話し合うとモコちゃんのことをもっと知ることができるから。
めあて	① モコちゃんのことを1年生に分かりやすくつたえる方ほうを考えよう。 ② 友だちのいけんを聞いて、じ分のいけんを言おう。
決まっていること	日時：12月12日～16日ごろ 場所：多目的室か体育館 伝えること：1. モコちゃんについて（食べ物、特徴、鳴き声など） 2. お世話の方法について 3. ホームステイについて 4. モコちゃんとのふれあい方について
学習活動	○ 指導上の留意点 【観点】評価規準（評価方法）
1 はじめの言葉	○議題、提案理由、めあてなどは、事前に模造紙や短冊に書き、黒板に掲示しておく。
2 議題と提案理由の確認をする。	○提案者の思いや願いを学級全体で共有し、全員で解決する問題であることを確認する。
3 めあての確認をする。	○めあてに沿って話し合えるように、全員で読み、意識できるようにする。
4 決まっていることの確認をする。	○決まっていることやキーワードを確認できるようにする。

<p>5 話し合い</p> <p>柱1 「おせわのしかたについて」つたえる方ほうを考えよう。</p> <p>柱2 「モコちゃんクイズ」のもんだいを考えよう。</p> <p>6 決まったことの確認をする。</p> <p>7 振り返りをする。</p> <p>8 先生の話</p> <p>9 終わりの言葉</p>	<p>○意見が出ないときは、小グループでの話し合いを取り入れる。 【思】1年生に分かりやすく伝わる方法について、友達の意見を踏まえて、自分の意見を考えようとしている。</p> <div style="text-align: center;"> </div>
	<p>○話し合いのめあてや、自分で考えためあてに沿って記入させる。</p> <p>○本時の話し合いでよかったところを評価し、今後の活動を協力して行おうとする意識をもたせる。</p>

(6) A評価とB評価の様相

区分	様相
A評価 (十分満足できる状況)	1年生に分かりやすく伝わる方法について、友達の意見を踏まえて、自分の意見を考えようとしている。
B評価 (おおむね満足できる状況)	教師の支援を受けて、1年生に分かりやすく伝わる方法について考えようとしている。

7 事後の活動

日時	学習活動	○ 主な指導上の留意点	【観点】評価規準(評価方法)
11月16日 ～	1 集会に向けて役割分担を行い、準備をする。	○ 計画に沿って協力して活動できるようにする。	【思】合意形成したことを基に、友達と協力して活動に取り組んでいる。(行動観察)
12月中旬	2 「モコちゃん集会」をする。	○ 1年生のことを考えた説明や工夫ができるように声掛けをする。	【思】集会の目的を意識しながら、友達と協力して活動に取り組んでいる。(行動観察)
12月下旬	3 振り返りをする。	○ 振り返りカードに記入させる。 ○ 友達と協力したことや話し合いを通して充実した集会になったことを称賛する。	【主】集会を振り返り、自分や友達の頑張りを認めたり伝えたりしている。(ノート分析)
3学期	4 1年生と一緒にモコちゃんのお世話をする。	○ 集会の内容を思い出しながらできるように声掛けをする。	